

淀川河川事務所は、平成24年に「桂川嵐山地区河川整備検討委員会」（以下、委員会）を設置し、治水・環境・景観・観光等に関する助言をいただきながら、景観や利用に配慮した治水対策の検討及び整備を進めています。

左岸溢水対策（可動式止水壁）については、前回委員会以降、引き続き地元意見や本委員会委員の助言を得ながら工事を進めてきました。止水壁は令和3年3月に設置が完了し、既に運用を開始しており、今年度は最後の景観に配慮した意匠工事を実施しているところです。

今回の委員会では、前回委員会以降の検討経緯や、可動式止水壁の設置及び実動状況、意匠工事の進捗について説明しました。

今後は、「一の井堰改築」「堰改築を含む派川改修」について、景観等に配慮しつつ、委員会の助言や地元及び関係者の御意見を伺いながら、設計・検討を進めていきます。

<第10回委員会概要>

- 日時：令和4年3月14日（月）15:00～17:00
- 場所：らんざん 2階 桂川
- 議事：委員長選出（交代）
可動式止水壁の実動及び意匠工事について
施工状況について（現場見学）
- 出席者：学識者委員 6名（欠席1名）、行政委員 5名



道奥新委員長挨拶



審議中の様子

○委員会議事の概要

- ①中川前委員長が令和3年3月で御退任されたことから、委員の互選により、道奥委員を新委員長に選出。
- ②これまで議論してきた左岸溢水対策が、現地で実現しつつあることを説明。

<現場で可動式止水壁の設置状況・意匠工事の進捗説明>



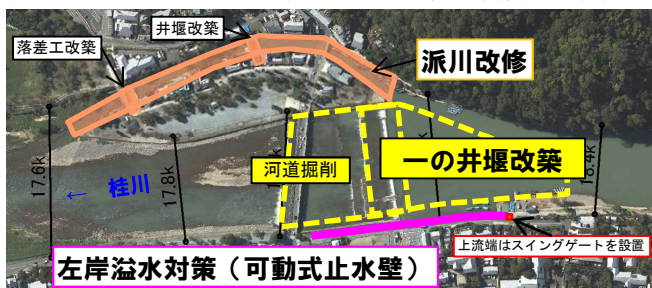
工事概要及び川側意匠（石積み護岸）の説明



止水壁設置状況及び歩道側意匠（意匠パネル、石畳等）の説明

可動式止水壁や意匠の実物に触れていただき、これまで議論してきたものが現地で実現しつつあることを説明

<嵐山地区の当面の治水対策の方向性（第8回委員会決定）>



左岸溢水対策（可動式止水壁）

（委員からいただいた主な御意見・御助言）

- ・今回の取組みは、デザインコンセプトや、石材の使い方等の面から良い事例である。担当者に異動があっても、しっかり引き継げるようにしてほしい。
- ・本事業は、地元との協働の観点から優良モデルとして発信できる。
- ・本日の意見やこれまでの審議内容について、他の事業でも参考にできるように、アーカイブとしてとりまとめていただきたい。



国土交通省



京都府



京都市

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 調査課
072-843-2861

